

# 『寄り道パーキング春蘭の里』が完成



地元産の石で作られたエントランスサインを除幕。題字「春蘭の里」は谷本正憲知事が揮毫しました。

伝統的な里山風景が残る「春蘭の里」。その景観をゆつくりと周遊するため、の拠点「寄り道パーキング春蘭の里」が完成しました。

## 寄り道パーキング第1号

石川県が県内20カ所を整備を進める『寄り道パーキング』。その第1号となる『寄り道パーキング春蘭の里』の完成を祝う会が7月15日、盛大に挙行されました。

会場には、県、町、工事関係者や地元住民ら約150人が集まり、新しい拠点の完成を祝いました。

式典を主催した春蘭の里実務委員会の中本安昭会長は、「訪れる人も、住んでいる私たちも共に元気になる『奥能登のパワースポット』として、多くの人に愛され、利用されるよう願っています」とあいさつ。谷本正憲知事は「世界農業遺産の中核を担う春蘭の里は、国内だけではなく、国際的にも認知度が上がっている地域。このパーキングを活用

用され、今後も能登の資源に磨きをかけていただきたい」と呼びかけました。

## 能登の里山里海を発信

『寄り道パーキング春蘭の里』には、▽24時間利用でき、無線LANを備えた電気自動車用の充電スタンド▽景観に調和する白壁黒瓦の道路案内板▽その照明に利用される小水力発電―など、環境や景観に配慮された設備が設置されています。

さらに田植えや稲刈りを体験できる田んぼ、地元特産品の直売所なども整備され、観光客と地域住民との交流の場としても期待されています。

世界農業遺産認定から一年。『寄り道パーキング春蘭の里』は、能登の里山里海の魅力を発信する新たな拠点として人々を迎えます。



# 佐渡に学ぶ トキとの共生

## チャーター船で佐渡へ

「佐渡との農業者交流」訪問団が7月17日、飯田港からチャーター船で佐渡市を訪問しました。

「能登の里山里海」と共に、世界農業遺産に認定された「トキと共生する佐渡の里山」。佐渡市では、生物多様性の保存と農業収益の向上を目指して「朱鷺と暮らす郷づくり」認証制度に取り組んでいます。

今回の訪問は、佐渡・能登里山里海交流事業の一環。羽

農協関係者、県市町職員ら50人が参加しました。

## 佐渡の取り組みを学ぶ

訪問団は佐渡市で開催された「生物の多様性を育む農業国際会議」に参加。日本、中国、韓国の先進事例のほか、農業技術や地域づくりについて学びました。

18日午後からは、佐渡市の農業者から取り組み内容を聞き、ほ場を見学しました。甲斐元也佐渡市長は「今日が佐渡と能登の交流の第一歩となります」と今後の交流に期待を寄せていました。

## Interview



JA内浦町理事 吉村安弘さん

佐渡では、昔の農業に戻っていると感じました。昔に戻ることは難しいと思いますが、これからは人間と生物が共生できる、若者が就農できる農業を考えていきたい。



農業 南 正晴さん

生物の多様性を引き出しながら一生涯命米を作っている現場を見ることが印象に残りました。今回の訪問で得たことを、できる限り実践していきたいと思っています。



農業 駒寄美和子さん

無農薬、無化学肥料の農業に興味があることを確認できました。「環境保全型」ではなく「環境創造型」農業を目指して、がんばっていきます。佐渡の若者が佐渡を思う熱い気持ちにも関心しました。



▲朱鷺と暮らす郷づくり認証制度には①「生き物を育む農法」により栽培していること ②農薬、化学肥料を地域政行比5割以上減らし栽培すること ③新潟県が認定するエコファーマーの認定を受けること ④生きもの調査を年2回実施すること―という条件がある。



▲佐渡トキ保護センターの繁殖ケージで飼育されているトキ。

「佐渡トキの田んぼを守る会」齋藤真一さんのほ場を視察する訪問団。生きものを育むために江（え）が設置され、無農薬・無化学肥料で栽培されている。田んぼにはカエル・ドジョウ・昆虫など、生きものがあふれていた。



▲完成を祝って郷土芸能「みのむし踊り」が披露された。



▲パーキング内に設置された直売所では、地元特産品などが販売される。トイレも併設されている。



▲景観に溶け込む道路案内板。周辺のドライブ情報をお知らせ。



▲近くの用水路に設置された小水力発電。案内板のLED照明は電気を送る。



▲約90分で満充電可能な充電スタンドは無料（認証カード方式）。

ぶんぶんボウルが猿鬼歩こう走ろう健康大会に出場決定！

## 『猿鬼伝説ひろめ隊』として伝説の魅力を伝えます



▲「ぶんぶんボウル」のまーしさん(左) ととよしげさん

よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の漫才コンビ「ぶんぶんボウル」が、9月23日(日)に開催される「猿鬼歩こう走ろう健康大会」に出場し大会を盛り上げてくれることになりました。

二人は地域に密着して芸能活動する「住みます芸人」として県内を中心に活動しています。今回、岩井戸公民館の要請を受け『猿鬼伝説ひろめ隊』として「猿鬼伝説」の魅力を地域の人たちに伝える任務を行うことになりました。

同大会では、歩こうの部「せせらぎコース(5km)」に出場し伝説の魅力を参加者らに伝えます。

10月にはこの民話を語り継いでいくため、町内の保育所と小学校で手作りの紙芝居を上演する予定です。



▲岩井戸公民館の関係者から猿鬼伝説の説明を受ける「ぶんぶんボウル」の二人＝岩井戸神社で

## 能登町イメージキャラクターを募集します

能登町商工会青年部では、能登町のさまざまな魅力や特性を町の内外に効果的・積極的に発信するために活用するイメージキャラクターのデザインと愛称を募集します。(協賛：能登町、能登町商工会)

### ■募集内容

#### ①デザイン画(カラー)

手書きまたは、デジタルデータで応募してください。デジタルデータはA I、J P G、G I F、P D F形式のものとし、画材、色彩、技法は自由としますが、必ずA4サイズの白地の用紙を縦長で使用し、キャラクターを正面から捉えたデザイン画を提出してください。

#### ②愛称および作品の説明(応募用紙に記入してください)

### ■デザイン条件

#### ①多くの人から親しまれ、愛着が持たれるデザイン。

#### ②グッズなどにも活用できるデザイン。

### ■応募条件

#### ①小学生以上ならどなたでも。(プロ・アマは問いません)

#### ②応募作品は、一人につき2点以内とします。

③応募作品は、自作で未発表作品に限り、他の作品と同一または類似していません。これらの条件に違反していたことが判明した場合、入賞は無効となります。

### ■応募期間

平成24年8月1日(木)～10月1日(月)※郵送の場合は当日消印有効

### ■応募方法

①能登町商工会青年部へ郵送、持参またはメールで送付してください。F A Xでの応募は受け付けしません。

②応募作品(デザイン画)には、作品の説明など必要事項を記載した応募用紙(作品1点1枚)を添付の上、送付してください。応募用紙は能登町ホームページからダウンロードできます。

③応募作品は、提出後に修正することはできません。採用・不採用に関わらず応募作品は返却しませんので、ご了承ください。

#### ④作品提出にかかる費用は、応募者の負担とします。

### ■賞および副賞

①最優秀賞1点 副賞 能登町共通商品券5万円

②優秀賞3点 副賞 能登町共通商品券1万円

### ■結果発表

平成24年12月中旬(予定)に最優秀および優秀賞の応募者へ通知し、能登町広報・ホームページなどで発表します。

入賞者以外の方は、ホームページなどの掲載をもって結果通知に代えますのでご了承ください。

### ■応募・問い合わせ先

〒927-0433 石川県鳳珠郡能登町字宇出津ト字44番地4

能登町商工会青年部

☎0768-62-0181 メールアドレス：noto@shoko.or.jp

## 第2次行政改革大綱 2年目の実績

町民の皆さんのニーズに応えるため、平成22年3月に第2次行政改革大綱および実施計画を策定し、さまざまな改革を進めています。平成23年度に取り組んだ行政改革の実績と平成24年度以降の計画は次のとおりです。

☎総務課 ☎62-8510

### 平成23年度行政改革の主な実績

#### ●組織機構の合理化

▷能登町本庁・支所検討委員会を設置し、中間報告書を提出

▷真脇小学校と宇出津小学校が統合

#### ●定員の定数等の適正化

▷能登町定員管理適正化計画による職員削減(削減数5人)

#### ●職員の意識改革の徹底

▷人事評価基準を定め実施(自己申告5段階評価、面接による評価実施)

▷昇格時に適正試験等の実施(対象26人)

▷職員の接遇に関する意識を深めるため「接遇アドバイス」を作成し周知

#### ●窓口サービス等の向上

▷行政れんらく員制度の周知

#### ●第三セクターの見直し

▷(株)能登町ふれあい公社、(株)能登町スポーツ振興事業団を解散し、新たに(株)能登町ふれあい公社を設立

#### ●経費の節減・合理化

▷公用車の台数を削減

#### ●町税等の収入の確保と負担の適正化

▷宅地造成地等の公有財産の売却、ホームページや広報紙の有料広告掲載による収入額を計上

▷水道会計の料金適正化のため経営診断を実施

#### ●事務事業の見直し

▷選挙時における投票所の見直しを検討

### 平成24年度以降の実実施計画検討内容

○分庁方式から本庁・支所方式の導入を推進し、現在の支所出張所の廃止を検討します。

○課の統合や業務分担を見直し、定員管理の適正化を図ります。

○申請・手続きの簡素化、複数手続きの対応の充実などによって窓口サービスの向上を図ります。

○各種補助金などは、目的や効果を十分に精査し、廃止や整理合理化に努めます。

○町税などの収納率の向上、使用料などの受益者負担の適正化を図ります。

○指定管理者制度の活用を図りながら、行政と民間との新たな役割分担のもと、最も適した管理者によるサービス提供を行える体制を整えます。

公共施設の必要性についても検証し、整理・統合を進めます。

○事務事業の改善・効率化にため必要な事業には、積極的かつ計画的に民間委託化を推進します。

## 行政改革評価委員会を設置

町は、社会情勢の変化に対応した簡素で効率的な町政の実現を推進し、行政改革に町民の意見を広く反映させることを目的に、能登町行政改革評価委員会を設置しています。平成24年度から平成25年度までの任期で任命されているのは、次の皆さんです。

〈能登町行政改革評価委員会委員〉

神座治彦 田中時孝 山本 勉 廣橋義男

開敷洋司 角 弘子 番谷 豊



6月18日に能登庁舎で開催された第1回委員会の模様

# 能登空港 「空の日」 フェスタ

9月9日(日) 10:00～16:30

能登空港往復利用旅行券が当たる「能登空港ウルトラクイズ」、「紙飛行機入れゲーム」や普段は絶対に入れない制限区域で、滑走路の近くから航空機の離発着を見学できる「空港内バスツアー」など多彩なイベントを開催します。

## 【開催イベント】

### ①管制塔・気象施設見学

対象：小学生とその家族 【要事前申込】

・10:40～・11:20～・15:15～・15:50～

各回定員：25人 約30分

※当日は免許証などで名前の確認をします。管制塔内での撮影は禁止されています。

### ②見てみようANA!!「ANAお仕事見学」

対象：小学生とその家族 【要事前申込】

・10:00～・14:30～ 各回定員：20人 約90分

### ③のっぴーを作ろう!!子どもクッキング教室

対象：小学生 【要事前申込】

・10:00～・13:30～ 各回定員：12人 約90分

### ④東京へ行く能登空港ウルトラクイズ

### ⑤東京へ行く紙飛行機 的入れゲーム

### ⑥アトラクション(よさこい踊り、県警音楽隊演奏)

### ⑦県消防防災ヘリ救助訓練デモンストレーション

### ⑧空港消防放水訓練

### ⑨かわいい風船 バルーンアート

### ⑩空港内バスツアー

### ⑪お茶会「花とお茶でのおもてなし」

### ⑫のっぴーグラス作り ⑬のっぴーぬりえ

### ⑭子供自動車乗車会 ⑮まいもん市、フリーマーケット

### ⑯サイコロふって「のっぴーDEハッピー」ほか

## 【フリーマーケット出店者募集】

会場にフリーマーケットスペースを設けます。出店希望者は、ハガキまたはFAXで、参加申し込み・住所・氏名・年齢・電話番号・販売品目を記載の上、8月24日(金)までにお申し込みください。予定数に達した時点で募集を終了します。※1区画約2m×3m

## 【イベントの事前申込方法】

①、②、③は事前に往復ハガキでの申し込みが必要です。それぞれ往復ハガキに希望時間・住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、8月24日(金)必着で下記まで送付してください。

ハガキ1枚で①は5人まで、②は4人まで、③は2人まで申し込みができます。応募多数の場合は抽選となります。

〒929-2392 輪島市三井町洲衛 10-11-1

石川県能登空港管理事務所内

能登空港「空の日」実行委員会

☎ 0768-26-2100 FAX 0768-26-2102

## 能登空港 8月のイベント

### ★5日(日)おらが故郷 お国自慢

出演：フラスタジオ恵「石井恵子教室」

時間：15:00 場所：2階ロビー 協力：能登町

### ★12日(日)のっぴーグラスづくり“のっぴー海水浴”

時間：10:00～12:00、13:00～15:00

場所：能登の旅情報センター(1階)

参加：無料(1家族1個程度)【限定50個】

### ★19日(日)おらが故郷 お国自慢

出演：西湊鬼楽太鼓

時間：14:00 場所：2階ロビー 協力：七尾市

【灯りをつなぐ能登半島】

# キリコと灯りの祭典

【開催日】8月18日(土)

【場所】柳田植物公園

11:00 五感まるごと市オープン

12:00 キャラクターショー

14:00 能登町音頭踊りコンテスト  
(参加者募集中)

15:30 キャラクターショー

16:00 伝統芸能発表

18:30 歌謡ショー

19:30 キリコナイト太鼓ショー

20:30 音楽花火大会

## ※能登町音頭踊りコンテスト

5人以上(年齢・性別問わず)、衣装自由。

優勝(3万円分の商品券)、準優勝、特別賞あり。

参加申し込みは8月8日(水)までに事務局まで。

☎キリコと灯りの祭典実行委員会事務局

☎ 76-1680 (植物公園内)

## 夏の夜の恋路物語

恋路浜が2人の恋を灯りをつなぎ幻想的な世界へと導きます。

静寂の中に打ち寄せるかすかな波の音と愛の伝説と灯りが織りなす空間へ。

恋路海岸で5千個の灯りが織りなすイベントを開催します。

【開催日】8月5日(日)

【会場】恋路海岸※駐車場有

18:00 開会式(点灯式)

ステージアトラクションを予定

21:00 閉会式

☎夏の夜の恋路物語実行委員会

☎ 62-8532 (ふるさと振興課内)

## 港町宇出津灯り フェスティバル

宇出津港と宇出津の商店街に2万個の灯りがともるキャンドルナイト。今年もすてきな図柄やメッセージが通りや広場を彩ります。夕涼みのそぞろ歩きにお出かけください。

【日時】8月12日(日) 17:00～21:00

【会場】宇出津港周辺・商店街

☉津軽三味線 一川明宏(明宏会)ミニコンサート

〈時間〉19:00～ 〈場所〉ニコニコ広場

☎能登町商工会 ☎ 62-0181

## 同時開催 2012 航空祭

一般公開  
入場無料

9月8日(土)・9日(日) 9:00～16:00

●観閲式(8日13時～) ●JAXAタウンミーティング(9日14:00～、会場：能登空港) ●ダンスアトラクション ●ミニカー運転体験 ●ヘリコプター遊覧飛行 ●キャビンアテンダントカフェ ●紙飛行機教室 ●模擬店 ●大型バスで滑走路をドライブ など ☎日本航空学園 ☎ 0768-26-225

能登町産業育成・活性化支援事業  
**町の新たな特産品開発を支援**

本年度より設立された能登町産業育成・活性化支援事業の補助金交付決定通知書交付式が7月11日、能都庁舎で行われました。持木町長は、事業に採択された3社に決定通知書を手渡し、「地域資源を活用した商品を開発・販路開拓を目指すことが、町の産業振興と雇用情勢の改善につながると期待しています」とエールを送りました。採択者は次のとおりです。  
 ・松波酒造(株) ・(株)いわづみ ・数馬酒造(株)



補助金交付決定通知書を受ける採択事業者

里山発見隊の学生が住民に報告  
**調査で感じた大箱の魅力を語る**

県の里山学習プログラム研究会「里山発見隊」で活躍する県内の大学生が6月24日、大箱地区の集会所で、前日の調査で感じた地域の魅力を発表しました。

参加した大学生は、県立大や金沢大など五大学から18人。地区を歩き回り住民から話を聞く中で、疑問に感じたり感動したりした点を、エコツアー企画会社「ぶなの森」のアドバイスを受けまとめています。集会所には大箱地区の住民約40人が集まりました。



写真を見せながら地域の魅力を紹介する学生

法務大臣メッセージを伝達する保護司の皆さん



社会を明るくする運動出発式  
**犯罪や非行を防止する地域へ**

今年で62回目を迎えた「社会を明るくする運動」の出発式が7月2日、能都庁舎で行われました。罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。この日は保護司11人が、持木町長に法務大臣メッセージを伝達。持木町長は「皆さんの協力を得ながら、犯罪のない地域づくりに努めたい」と話しました。保護司の皆さんは街宣車に乗り込み、理解を呼びかけました。

調印を交わし握手をする持木町長と松平会長



災害救助犬の出動に関する協定書調印式  
**災害救助犬が人命搜索活動を**

本年度、危機管理室を設置して防災体制を見直している能登町。7月19日には、NPO法人「石川県救助犬協会連合会」と『災害時における災害救助犬の出動に関する協定書』の調印を交わしました。

持木町長は「心強く意義ある協定。さらなる防災力向上を図りたい」とあいさつ。松平博之会長は「調印によって、もし私たちが被災しても東京や海外から救助犬が駆けつける体制になります」と話しました。

あじさい花灯り回廊  
**4千個の灯りに浮かび上がるアジサイと十三仏**

あじさい寺として親しまれる平等寺(寺分)で6月30日、能登ふるさと博の一環として「あじさい花灯り回廊」が開催されました。境内に並べられた灯りは約4,000個。見ごろを迎えたアジサイを幻想的に照らしました。住職の上野弘道さんは「いつでも寺に来て、花を愛でてほしい」とあいさつ。来場者は参道を歩きながら十三仏やアジサイに見入っていました。

本堂では「はるとも会」「はるすず会」による日本舞踊の演舞と能登町当目出身の歌手、免坂明さんの歌謡ショーが行われ、会場を盛り上げていました。



▲来場者を出迎えた能登ふるさと博のイメージキャラクター「のとどん」

◀130種4,000株のアジサイが植えられ、十三仏が配置される平等寺の参道

高倉保育所の園児がヒラメの稚魚放流  
**水産資源を守っていくお手伝い**

石川県漁協小木支所が、水産資源の増大と維持を目的に毎年実施する水産動物種苗の放流事業。今年6月26日に行われ、高倉保育所の園児11人が九十九湾にヒラメの稚魚を放流しました。

この日放流されたヒラメの稚魚は、県水産総合センター生産部志賀事業所で育てられてた1万匹。園児たちはバケツに分けられたヒラメを観察したあと、「大きくなってね」と声を掛けながら優しく放流しました。



ヒラメの稚魚を放流する園児

「アリとキリギリス」など8つのテーマを披露した遊玄社の皆さん



スクールシアター  
**イソップ童話の世界に入り込む**

石川県スクールシアターが6月20日、能都体育館で開催され、町内の小学校4年生から6年生360人が本物の舞台芸術を鑑賞しました。

今年は「演劇集団 遊玄社(東京都)」による「イソップブランドの動物たち」が上演されました。イソップ童話を元に、アフリカの民族楽器を駆使するオムニバス音楽劇で、児童たちは劇に込められたメッセージを感じながら楽しんでいました。

ま  
 ち  
 の  
 出  
 来  
 事